

(企画挨拶)学生研究プロジェクト研究報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹宮, 孝子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00033056

学生研究プロジェクト研究報告

竹宮 孝子

東京女子医科大学看護学部基礎科学 准教授

本シンポジウムにおいて、医学部4年生が研究発表を行う企画は今年で5年目を迎えます。今回は4人の学生が、それぞれ生化学、呼吸器内科、先端生命医科学研究所、学生健康管理室において、3年次に行った「研究プロジェクト」の研究成果を発表します。

研究プロジェクトは、2013年から開始されたカリキュラムで、医師に必要な科学的思考力や研究マインドの育成を目的として、学生が各研究室において各自個別のテーマを設定して研究活動を行うものです。医学教育モデルコアカリキュラムにおいても研究マインドを持った医師を育てることの重要性が示されています。また、将来に向けて、問題を見つけ追求する力や問題解決に向け考え実行する力は重要であり、研究プロジェクトによってこれらが達成されるものと思われます。

研究プロジェクトの必修期間は3年次の12月の3週間で、終了時には研究室内で発表会が行われるだけでなく、学内に公開される「研究プロジェクトポスター発表会」も実施されています。さらに意欲的な学生が、本シンポジウムに発表のエントリーをしています。必修期間の前後も情熱を持って研究に取り組み、発表準備にも時間をかけてきたことは、彼女達の大きな成長につながったことと思われます。予演会も経験し、ブラッシュアップした成果発表を行うことができるのも、研究室の先生方や関係の先生方が終始温かくご指導、ご支援下さった賜物と思われます。

また、例年、学生の発表を聴く同級の学生たちにとってもこの発表会は大変意義深く、シンポジウム後には、「研究の着眼点に感心した」「この研究が新しい治療に応用できる可能性があることに感動した」「自分がもう一度勉強し直す刺激になった」「自分もこのような発表ができるように頑張りたい」など研究への興味と学ぶ意欲を示す感想が数多く寄せられます。本日も、学生のみなさんには是非同級生の発表から多くのことを学び、科学的思考力を深めて頂きたいと思われます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の理由で医学部4年生の研究発表は収録ができませんでした